

転ばぬ先のがん検診

「がんは自覚症状がないことが多い」

そんなことを聞いたことはありませんか？

だからこそ、自分が「元気!」と思っているうちが早期発見・早期治療のチャンスです!

●国保けんこう課(内線152)

がん検診とは

がん検診は、身体にがんがあるかどうかを調べる検査です。

がんが見つかった場合には、精密検査などで身体のどこにどんな種類のがんが、どれくらいの大きさであるかなどを調べ、どのような治療法が最も適しているか方針を立てるのに役立てます。

「健診」も「検診」も、日常生活を送る上で特に健康上の大きな問題を抱えていない、無症状の人を対象に行っています。

定期的を受診して、健康な毎日につなげましょう。

❓ 「健診」と「検診」の違い ❓

健診：対象の病気を定めず、身体に異常がないかを調べる(健康診断)。

検診：特定の病気に絞って調べる。

がん検診のメリット・デメリット

検診は薬を使ったり、検査機器を使用するため、デメリットが発生する場合があります。

それでも、がんで亡くなることを防ぐメリットの方が大きいことが証明されているため、デメリットを知り、自身の体質・体調を見ながら、検診を受けましょう。

メリット

- ☐ 早期発見、早期治療による救命
- ☐ 患者にかかる身体的負担、経済的負担や治療に要する時間が少ない
- ☐ がんになる前段階の病変が見つかることもある

デメリット

- ☐ 検診で100%発見できるわけではない
- ☐ 結果的に不必要な治療や検査を受けることになる可能性がある
- ☐ 検査によって身体に負担がかかることがある

主ながん検診の種類

肺がん検診

- ・日本のがん死亡原因2020年1位。早期は自覚症状がないことが多い。
- ・喫煙者の死亡リスクは非喫煙者と比べて男性で約5倍、女性で約4倍高い。



胸部エックス線検査

(問診の結果必要と認められた場合に実施)

胸のエックス線撮影を行う検査です。

全体を写すため、大きく息を吸い込んでしばらく止めて撮影します。

かくたんさいぼうしん

喀痰細胞診検診

※対象50歳以上、400円追加

喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の人に推奨されます。過去に喫煙していた人も対象です。

3日間、起床時に痰をとり、専用の容器に入れて提出します。

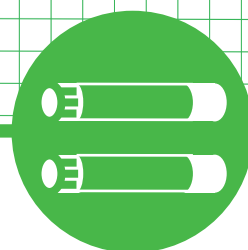
対象 **40**歳以上

150円

※個別健診で特定健診などと別に受診する場合
300円追加

大腸がん検診

- ・日本のがん死亡原因2020年2位。
- ・現在かかる人が増加しており、早期は自覚症状がないことが多い。



便潜血反応検査

便の表面をこすり取って2日分採取し、出血(潜血)がないかを検査します。

がんやポリープなどの大腸疾患があると、大腸内に出血することがあります。通常、出血は微量で目には見えません。

※痔出血や生理中は、検査を避けてください。

※検査前の食事制限はありません。

対象 **40**歳以上

150円

※個別健診で特定健診などと別に受診する場合
300円追加

胃がん検診

- ・50歳代以降かかる人が多い(日本のがん死亡原因2020年3位)。
- ・早期は自覚症状がないことが多く、早期発見できれば治る確率が高い!



エックス線検査

バリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲み、胃の中の粘膜を観察します。

便やバリウムが腸内で詰まって腸閉塞を起こすことがまれにあります。放射線被ばくによる健康被害はほとんどありません。

胃内視鏡検査

口または鼻から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察します。

検査時に疑わしい部位が見つければ、そのまま生検(組織を採取する)を行う場合もあります。

胃内視鏡検査では検査前に喉の麻酔などを行います。

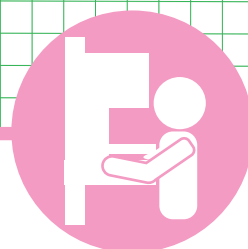
対象 **40**歳以上

個別健診 1,400円

集団健診 700円

乳がん検診

- ・日本人女性のがん死亡原因2020年4位。
- ・早期は自覚症状がないことが多い。



エコー(乳房超音波検査)(年に1回)

乳房表面に直接、器具を当て、はね返ってくる音波の映像から、病変がないかを調べます。
触診では見つけれない乳がんも検出可能といわれています。
数ミリの小さな「しこり」も見つけることができるとされています。

マンモグラフィ(乳房エックス線検査)(2年に1回)

2枚の板で乳房を挟み、上下・左右から圧迫して撮影します。平たくすることで、しこりとその周囲にある正常乳腺の差を際立たせるほか、被曝を抑える目的もあります。
・セルフチェックでしこりなど気になる症状がある場合は、検診時期を待たずに医療機関で受診しましょう(セルフチェックについては22ページをご確認ください)。

対象

【エコー】

30～39歳の女性

【マンモグラフィ】

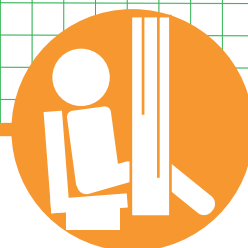
40歳以上の女性

エコー 600円

マンモグラフィ 900円

子宮頸がん検診

- ・20～40歳代の女性で増加傾向にある。
- ・ヒトパピローマウイルス(HPV)が影響(ごく一部が子宮頸がんになる)。



頸部細胞診(2年に1回)

子宮頸部(子宮の入り口)を、先にブラシについた専用の器具で擦って細胞を採り、異常な細胞を顕微鏡で調べる検査です。
※生理中は避けて検査を受けてください。

頸部細胞診+体部

頸部の検診時に何らかの異常があり、医師が必要と判断した場合に実施します。

- ※子宮頸部摘出手術後の人は検査を受けることができません。
- ※子宮頸がん予防ワクチンを接種していても、定期的な検診が必要です。

対象

20歳以上の女性

頸部 800円

頸部+体部 1,300円

健診×検診のダブル受診でお得に



保険者や職場が実施している健康診断とがん検診を一緒に受けるとお得になる場合があります。医療機関によって、受けられるがん検診の種類が異なるので、予約の際にご確認ください。

また、がん検診は職場などでさらにお得に実施している場合があります。まずは職場・保険者に確認してみましょう。

**年に1度の「健診」×「検診」を
定期的に受けましょう！**